

令和5年度植物友の会活動記録

井上尚子・久保晴盛・富澤まり

はじめに

植物友の会は、植物に興味を持つ一般の方々から募集した人の集まりで、植物公園を活動の場として植物愛好者が集い、植物・園芸に関する知識・技術の向上を図り、自然保護の心を育てることを目的に、昭和54年10月に設立された。

令和6年1月現在、会員数は個人会員が91(+19)名、家族会員が26組55(+15)名の計146名であった。〔()内は前年度同月からの増減会員数。〕

活動

年6回の例会、年2回の野外観察会、会誌「はなの輪」の発行などを主な活動として行った。また、園内ボランティア(友の会ボランティア)、部会活動(植物同好会)などは通年で活動した。

(1) 例会

2か月に1回の定例会を展示資料館2階講堂で行った(表1)。栽培・展示課職員が持ち回りで行う年4回の「季節の園芸作業」(写真1)のほか、招聘した外部講師、ハーブ研究家 梶原美恵子先生による特別講義「ハーブとスパイスの解説と、これらを使ったリース作り」を実施し(写真2)、作成した作品をロビーに展示した(写真3)。例会の前には運営委員会を開催し、友の会の活動方針などを随時協議した。



写真1 季節の園芸作業

表1 例会の内容

第1回 5月14日 参加者33名	エラチオールペゴニアの手入れ* ダリアの育て方* 園内の見どころ現地ガイド
第2回 7月16日 参加者28名	涼しさを演出するスイレン栽培* ヒガンバナの育て方* 植物クラフト作りの活動勧誘
第3回 9月10日 参加者33名	洋ランの管理* バラの夏剪定* 友の会交流会(情報交換会)
第4回 11月12日 参加者29名	特別講義「ハーブとスパイスの解説と、これらを使ったリース作り」 講師: 梶原美恵子先生
第5回 1月14日 参加者35名	ペゴニアの種子採りと播種* 山野草 冬〜初春の植え替え* 大温室の植物観察
第6回 3月10日	総会 園内見どころ案内(予定)

* 季節の園芸作業



写真2 特別講義の様子(梶原美恵子先生)



写真3 特別講義で作成したハーブの巨大リース

(2) 観察会

第1回の観察会は令和5年度特別企画展「牧野富太郎と広島」の関連行事として『牧野博士足跡ツアー「厳島」』と称し、瀬戸内CN国際共同研究センターの坪田博美准教授を講師に迎え、一般の参加者と合同で実施した。観察場所は、広島県廿日市市宮島町の大元公園周辺から多々良潟にかけての海岸沿いで行った(写真4)。

2回目は友の会会員のみで、広島県廿日市市宮島町の弥山と紅葉谷公園の山や谷沿いで実施した（写真5）。

表2 野外観察会の開催地と場所

第1回 6月4日 参加者数23名	・牧野博士足跡ツアー「厳島」 大元公園周辺～多々良潟 (廿日市市宮島町)
第2回 9月30日 参加者数20名	・弥山・紅葉谷公園 (廿日市市宮島町)

(3) 展示会

植物同好会の会員が自宅で栽培している季節の山野草などを展示する「植物同好会ロビー展示」を5月9日（火）～14日（日）（写真6）と9月5日（火）～10日（日）の2回開催した。第1回は6名から71点、第2回は3名から43点の出品があった。

(4) 園内ボランティア

原則第1・第3火曜日に有志を募って通年で開催した（表3）。除草や植え付けなどの植栽管理、ハンギングバスケット作成やクリスマス飾るフラワー展の装飾など多岐にわたって活動した（写真7～15）

表3 令和5年度友の会ボランティア活動記録

活動月	活動内容	のべ人数
4月	植栽管理（大温室・カスケードほか）	21
5月	植栽管理（ペゴニア温室周辺・ログガーデンほか）	18
6月	植栽管理（カスケード・ログガーデン）	12
7月	植栽管理（ログガーデン・ペゴニア温室周辺）、ダイコンドラ コケ玉作成	16
8月	植栽管理（カスケード・ログガーデン等）、夜間開園準備補助ほか	7
9月	ハンギングバスケット作成、夜間開園準備補助ほか	19
10月	植栽管理（カスケード・ログガーデン等）、植物クラフト材料収集ほか	21
11月	クリスマス展飾付、ハンギング作成ほか	33
12月	クリスマスリース作りと展示	15
1月	植物クラフト作り	14



写真4 第1回観察会の様子（6月4日）



写真5 第2回観察会の様子（9月30日）



写真6 植物同好会ロビー展示



写真7 ハンギングマスターの資格を持つ会員の指導の下でハンギングバスケットを作成



写真 8 ログガーデンの除草作業



写真 12 クリスマスの展示用に作成した寄せ植えと植物クラフト



写真 9 シロバナムシヨケギク植え付け作業



写真 13 クラフト用球果を洗って乾燥



写真 10 行燈用の切絵を作成



写真 14 展示用に作成したリース



写真 11 「虫の音を聴くうら池散歩」用に昆虫の切絵の行燈を作成



写真 15 作成したクラフトの飾り付け

(5) 会誌「はなの輪」の発行

A4版8ページ（観音開き）のリーフレットとして、植物の育て方や園内の見どころなどを紹介した会誌「はなの輪」を各号400部発行し、会員のほか関係団体へ配布した（表4）。また、会員向けのニュースレターを例会毎に発行した。なお、はなの輪については、植物公園の機関誌として内容を再編集したものを各号1500部発行し、広島市内の区役所や公民館等に配布した。

表4 会誌「はなの輪の発行」

令和5年4月	2023通巻175号（春～初夏号）
令和5年7月	2023通巻176号（夏号）
令和5年10月	2023通巻177号（秋号）
令和6年1月	2024通巻178号（冬～初春号）

(6) 部会

友の会内の部会は、現在は植物同好会（旧山草部会）のみが活動しており、その活動は植物公園の運営下ではなく自主的に運営されている。例年、植物同好会では、2か月に1回、友の会例会前の午前中に会合（例会）を開いているほか、5月と9月の友の会例会にあわせて開催する展示資料館ロビー展示や同好会独自の野外観察会を行っている。また、部会員が栽培・育成した苗物の交換も随時行っており、4月のサクラソウ展では出品（展示）に協力いただいた。なお、展示資料館ロビー展示は、当該同好会の中心メンバーが高齢になり出品物を集めることが難しくなったため、来年度の展示を辞退したいとの申し出があったことから、次年度の展示会は行わない予定である。

まとめ

令和5年度は、連続テレビ小説「らんまん」のモデルとして日本の植物分類学の父「牧野富太郎」博士が取り上げられ、当園も牧野博士をテーマとした企画展を開催した。そのため多くの方に関心を持っていただけたのか、例年より新入会員が多かった。今年度は会員から、園と植物の魅力を来園者に感じていただけるワークショップや、子供たちに楽しんでもらえる展示の仕方など、多くの提案をいただいた（写真16～19）。継続して、会員の満足度の高い企画を打ち出せるように、検討していきたいと考えている。



写真16 会員によるシロバナムシヨケギクを使った線香の作り方の説明



写真17 会員が作成した線香



写真18 遊具への道沿いに植物クラフトを展示



写真19 会員のアイデアを持ち寄って、ホウライチクの竹皮で桜の飾りを作成